

新年度に向かって

J S A F 外洋東海会長 坂谷定生

桜も各地で満開となる季節となりました。いよいよヨットシーズン到来で、外洋東海でのトップを切って4月7日に27回目の三河湾周遊レースが開催されます。会員の皆様方におかれましては、レース派、クルージング派、居酒屋派それぞれに年間計画を樹て、ウキウキしている今日この頃ではないでしょうか。

2018年度を振り返りますと、誠に残念ながらパールレースをはじめ3本ものレースが中止になるという異常な年でした。このような経験は長く外洋東海に関わってきましたが、今まで経験したことがありませんでした。一方では沖縄-東海ヨットレースやエリカカップなど他のレースや行事は計画通り事故やトラブルもなく終えることができ、ご協力いただいた蒲郡市様をはじめ、周辺のマリーナ、ヨットクラブの方々、レース運営に携わっていただいたJ S A F 外洋東海のスタッフの皆様方に感謝申し上げる次第です。

さて、今年流れた大きなニュースと言えば、2024年のオリンピック・パリ大会からオフショアレースがヨット種目の新種目として実施されることがWorld Sailingの総会で決定したことではないでしょうか。オフショアレースについては2020東京大会のショーケースイベントとして、開催にもう少しのところまで行ったものの、残念ながら実現しませんでした。少し気落ちしていたところへの朗報だったので、大変うれしく思ったところです。これに関連し、2020年からはオリンピックと同様のフォーマットによる世界選手権が開かれることになっています。J S A F 外洋艇推進グループでは、早速これらに対応すべく「オリンピック外洋小委員会」を立ち上げ、今後選手選考方法やコーチングの方向性などについて協議推進していくこととなります。

さて、今年はパールレースが第60回目を迎え、人間でいえば還暦という記念すべき年となります。以前から外洋レースの登竜門といわれながらこれまで続けてきたわけですが、長く継続することが財産であると確信しているところです。この記念すべき大会に何か一工夫をして多くのセーラーに参加していただけるようなレースにならないかと実行委員会では検討しているところです。

ただ、今年と来年の2年間はオリンピック関連行事やワールドカップの開催に伴い、江の島フィニッシュが出来ない状況です。国を挙げての行事では仕方ないと納得した上で、現状でベストのコースや受け入れ態勢を構築することに努力したいと考えています。是非新規格のパールレースに参加していただくことを強く願いつつ、皆様方のご健勝と今年一年の安全で楽しいヨットライフを祈念しご挨拶とさせていただきます。